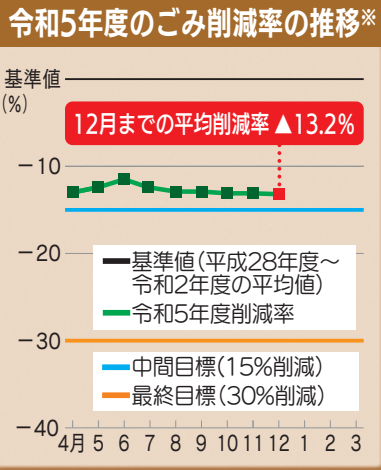


※袋井市の家庭可燃ごみの集計



市の資源回収では、液体(灯油・オイル・消毒液等)が入ったものは発火の恐れがあるため捨てられません。
 そのような中、収集所で未回収となってしまうことが多いものが「ファンヒーター」です。使い切ったつもりでも灯油が残ってしまっていることが多々あります。そのほかの暖房器具にも、処分の際に注意いただきたい点があります。この機会に正しい捨て方を覚えましょう。

意外と知らない!?
暖房器具の正しい捨て方

2030年度までに可燃ごみ30%削減

ごみさんまる

運動

第二十三回

周廃棄物対策課
 ごみ減量推進係
 TEL84-6057

ファンヒーター

底のフィルターを外し、たまっている灯油をボ口布等で吸う。本体の乾電池を外し、金物・小型電化製品として出す。



オイルヒーター

オイルを抜いて、金物・小型電化製品として出す。

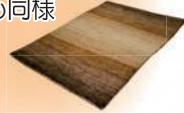
※オイルの抜き方は、販売店または製造メーカーにご相談ください。



電気カーペット

収集所のコンテナに入るように折りたたんで、金物・小型電化製品として出す。

※電気毛布も同様



収集所のコンテナに入らないサイズの場合は、中遠広域粗大ごみ処理施設(磐田市新貝59-1)へ搬入してください(有料)

聖隷袋井市民病院

聖隷袋井市立聖隷袋井市民病院 TEL 41-2777



ちょっと気になる!? 病気のはなし 6 最終回

花粉症の対策と治療
 聖隷袋井市民病院 病院長
 耳鼻咽喉科 林 泰広



- 花粉と接触しないことが重要。花粉情報に十分注意し、花粉が多く飛ぶ日の外出はできるだけ避ける
 - マスク・メガネ・帽子で花粉の口や目への侵入、髪への付着を避ける
 - 花粉がつきにくい、スベスベした素材の服を着る
 - 家に入る前にブラシで髪や服に付いた花粉を落とす
 - 家に帰ったらシャワーを浴びて着替える
 - 布団や洗濯物の外干しを避ける
 - 窓や戸はできるだけ閉めておく
 - 部屋で掃除機をこまめにかける
 - 空気清浄機を設置する
 - 花粉シーズン中は規則正しい生活を守り、ストレスをためず身体を適度に休ませる
- 静岡県西部地域は我が国でも有数のスギ・ヒノキ花粉飛散地帯です。2024年は花粉が多く飛ぶと予想されています。2月中旬から本格化し、3月中旬頃にピークを迎え、5月初旬頃まで飛び続けます。毎年、花粉症の方には恨めしい季節です。
- そこで、生活上の対策法をいくつか紹介します。
- これらの対策をとってもまだ困るという場合は、薬で治療することになります。最近では、効果のある薬が処方箋なしでも一般の薬局で手に入るようになりましたが、生活に支障があるような方は、耳鼻咽喉科専門医やアレルギー専門医などへご相談されることをお勧めします。治療にはバリエーションがあります。どんな症状で困っているのかを医師へよく伝えてください。眠気などの副作用がほとんどなく、とてもよく効く薬もありますので、受験生も安心して治療が受けられます。